

児童発達支援クラブ メロディ

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

令和4年3月31日

チェック項目		はい	どちらともいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			1階でサーキットや音楽活動を行っています。人数が多いときには公園に行くグループを作って活動しています。
	2 職員の配置数は適切であるか	○			利用者人数や活動によって人数配置を変えているが、十分なスタッフ配置ができていると思う
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		階段の段差が高く、子ども向けになっていないところもある。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			年度初めに目標設定を行い、10・3月に自己評価をするシステムをしている。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			毎年1度アンケートをとり、利用者の意見を聞いている
	6 この自己評価の結果を、事業所の開放やホームページ等で公開しているか	○			今年度よりホームページで公開しています。
	7 第三者により外部評価を行い、評価結果につなげているか		○		外部専門家としてOTの木村順先生と元八幡学園職員の土橋良太先生をお招きして、支援等に関するアドバイスを頂いている。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			毎年1回は法人全体研修を行っている。毎月色々な研修の機会を設ける
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個人個人の将来の自立に向けた計画を児童の環境にあわせ保護者と話し合いながら行っている
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			場合により、検査を行えるようにK式等の検査キットを準備している
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			月案週案日案の作成を行っている
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			利用者集団にあわせたプログラムに心がけている
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休みや休日のプログラムは普段できないダイナミックなものを準備している
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			集団と個別活動のプログラムを作り、個々のニーズに合わせて行っている
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝は児童事業所全体で打ち合わせ(児童配慮点など)活動前は各事業所で打ち合わせを行っている
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後、事業所で反省、その後法人全体での反省を行っている
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表	○			記録は、個人日誌や活動計画に反省まで記録している

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを行っていただきたいが、相談員は電話が多い。子どものフェイスシートを作成し、理解してもらうようにしている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			ガイドラインでチェックを行ったが、ほぼ沿って支援できていると思う
関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通したもつともふさわしいものが参画しているか	○			その時間関わっているスタッフを複数参加させるようにしている
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校との引継ぎの重要性をスタッフに伝達して利用者の状況の情報を密にするようにしている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	看護師がいらないため利用する場合は、親子一緒に来所していただくことにしている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	事業所内での移行の際は、情報交換や支援についての引継ぎを行っているが他機関との情報共有は行っていない。全てのケースではないが必要に応じてケース検討や見学を実施している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	必要であれば行う用意があるが、現在のところそうした申し出は無い為、行っていない
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			センターでの研修にはなるべく参加するよう心がけている
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			公園やレストラン等の地域の社会資源を利用して、地域の子どもや住人と交流をする機会をつくっている。現在はコロナ感染症予防のため交流は控えている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	機会があまり得られない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			面談や送迎時に子どもの現状や課題についての話をする機会を持つようにしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	以前ペアレントトレーニングは、スタッフ研修で取り入れたが、現実的には難しくペアレントプログラムの導入を検討している
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか			○	運営規定は、事業所の入り口に配置。支援やお支払いの内容については送迎時にお伝えしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			個別面談は要望により随時行っている。
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			親子ふれあいや就学時前保護者会・動物公園花壇ボランティア保護者交流会などを定期的に行っている。現在はコロナ感染症対策のため控えている。	

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			保護者からの相談苦情は、管理者を通して対処することになっている
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月通信を発行、また年に1度「風のささやき」を発行
	35	個人情報に十分注意しているか	○			スタッフから個人情報守秘義務の誓約書で確認している
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			帰りの送迎時に保護者に児童の様子を伝えたり、保護者の様子を感じ取ったりするよう心がけている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			子ども食堂・チューリッププロジェクトを行い常に近隣住民と交流を図る努力を行っている。コロナ感染症対策のため今年度は控えている。
非常時の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			緊急時対応マニュアルをつくり周知している
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に2回避難訓練を行う、また非常食を食べる機会を作る
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待が起こらないように、発達の研修を行い、児童の状況を把握し虐待が起こらないよう、対処の仕方を話し合い対処する。法人内で委員会を立ち上げ対応している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束についてのマニュアルの作成。止む追えない場合は、保護者の同意書をもらい、最小限実施。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			打ち合わせのときに確認して周知する。台所に明記してある
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			毎月スタッフ会議のときに法人全体に発表して対処の方法を話し合う